

サ
ク
ラ
パ
パ
オ
ー

鈴
木
聡

(登場人物)

田原俊夫

岡部今日子

ヘレン

的場博美

井崎 修

菅原幸子

横山一郎

柴田 達

(場所)

スターライト競馬が開催される夜の競馬場。

舞台後方に観覧席、中央にスタンドバー、その後ろに一階席からの階段、

下手に馬券売り場、上手に小さな卓のあるエリア(窓からパドックが見える)という設定。

ひとのざわめき。馬のいななきや歩く音がかすかに聞こえる。

横山、井崎、的場、幸子、柴田、ヘレンがそれぞれ登場。観

戦席に集まる。

場内アナウンス。

ア ナ 本日はご来場ありがとうございます。スターライト競馬第三日を開催いたします。ただいまよりパドックに第一レース出走馬が入場いたします。

音楽。皆、退場。

俊夫と今日子登場。あたりを見回し、

今日子 へえ。こうなってるんだ。

俊 夫 どう？ 初めて来た感想は。

今日子 けっこうきれい。

俊 夫 ここが穴場。

今日子 穴場？

俊夫 馬券売場。(と観戦席へ)

今日子 へえ。

俊夫 観戦席はこっち。夜は芝がきれいだよ。

今日子 ほんとだ。

俊夫 (パドックへ) どの馬を買うかはパドックを見て決める。毛づやや体つきや歩き方なんかを観察するんだ。

今日子 田原君、詳しいね、よく来るの？

俊夫 二、三回、来ただけだよ、先輩に連れてこられてさ。競馬きらい？

今日子 きらいつてことないけど、親戚にハマっちゃったオジさんがいてさ。

俊夫 だいじょうぶだよ、俺ハマツたりしないから。つきあいでもやるだけ。

今日子 そうだよ、田原君けっこうマジメだもんね。

俊夫 ウラオモテないし。ぜんぶオモテ。

今日子 安心して。

俊夫、競馬新聞を読み出す。パドックで馬のいななき。

今日子 ……電話してくれた？

俊夫 え？

今日子 二次会のお店。

俊夫 あ、まだ。

今日子 早目にしておいてね。あそこ人気あるから。

俊夫 ごめん、なんか忙しくてさ、明日しとくよ。

今日子 これ、念のため前金。(と封筒を)

俊夫 あ。

今日子 三十万あるから、足りると思う。

俊夫 助かるよ、俺もう貯金スツカラカンで。悪いね。

今日子 いいの、いろいろお金かかるもんね。

俊夫、ポケットに封筒をしまい新聞を読む。

今日子 ……なくしてないよね？

俊夫 なに？

今日子 お店の電話番号。

俊夫 だいじょぶ、ちゃんとここ入れたから。(と定期入れを取り出す)

今日子 あ、別に心配してるわけじゃないけど。

俊 夫 心配になるよね、俺、箸袋なんかを書いちゃうし。

今日子 手のひらにも書くよね。

俊 夫 もう全身メモ用紙。いちいち手帳だすのめんどろじゃん？

今日子 うんうん。

俊 夫 あれ、どこいっちゃったかな、ビデオ屋の会員証、イオカード、これ
地下鉄、レコード屋のスタンプ……

今日子 キャバクラいくんだ。

俊 夫 あ、それつきあい、飲んだイキオイでさ、お得意さんもいたし。

今日子 接待だ。

俊 夫 そう、こっちがいやでも断れないじゃない。

今日子 大変だよね。

俊 夫 ちょっと待って、必ずあるから。

今日子 中島みゆき買ったんだ。好きなの？

俊 夫 いや、たまたまさ。

今日子 ほんとのこと言って。

俊 夫 好き。ぜんぶ持つてる。

今日子 こないだお部屋いった時一枚もなかったじゃない。

俊 夫 隠したんだよ、押し入れに！

今日子 ねえ、けっこうウラオモテない？

俊 夫 ないって。

今日子 松山千春は？

俊 夫 好き。

今日子 ほらやっぱり。

俊 夫 だからいまウラをオモテにしたじゃない。

今日子 なにこれ、馬券？

俊 夫 はずれたヤツだよ、つきあいだって。

今日子 つきあいでこんなに買うかな。

俊 夫 買っちゃうんだよノリでさ。

今日子 貯金もノリでしちゃってよね。

俊 夫 はいはい。

今日子 あ。

俊 夫 なに。

今日子 定期にワツカの跡。

俊夫 それ、五百円玉。

今日子 五百円玉の円周だけ？

俊夫 男にはそういう時期があるんだよ、それ大学のときから使ってるからさ、昔だよ昔。

今日子 ヘレンで誰さ。

俊夫 あ。

今日子 こういう電話番号はなくさないんだ。

俊夫 あ、それちよつとさ。

今日子 札幌ホテルの領収書だ、去年の日付じゃないのさ。

俊夫 いやそれ、部の旅行いったとき知り合った人だよ、写真撮ったからあとで送るって約束してさ。

今日子 なにやってる人？

俊夫 保険の外交。

今日子 ヘレンが？

俊夫 二世みたい。

今日子 いくつぐらいなの。

俊夫 五十五って言ってたかな。いやあ雪祭りのどらえもんの前で写真撮っ

てくれて言われてさ、孫に見せるからって、忘れてたなあ、探して明日送ろう。

へレン登場。

へレン トシくん？

俊夫 あ。

へレン 忘れちゃった？ 札幌でお会いしたへレンです。

俊夫 あ、ああ、若返りましたね。

へレン 偶然ね、あ、そういえば競馬好きだっておっしゃってらしたものね。

俊夫 いや、ハハハ。

へレン お友だち？

俊夫 ええ、まあ。

今日子 結婚するんです。

へレン あらそう、お似合い。ギャンブルお得意みたいよ、いっぱい稼がせなさい。

今日子 ええ。

ヘレン 楽しかったわ、あの夜。忘れられないの。

俊夫 あ、ハハハ。

ヘレン あ、そうそう、写真送っていただいたでしょ、いまも持ってるの。時々見て思い出すのよ。(とバッグから写真を)

俊夫 あ、それ、あの、ちょっとヘレンさん。

ヘレン (今日子に見せて) ほら、笑っちゃうでしょ、傑作でしょ。

今日子 ハハハハハハ……笑っちゃいますね。

俊夫 あ、これ、なんか、誤解されちゃうかもしれないけど、違うのね、一見ふたりだけどフレームの外にいっぱいいるわけ。で、一見、浴衣なんか着てベッドの上で抱き合ってるように見えるけどさ、ほんととはこうしてるわけ。で、ヘレンさんがここから顔出してるわけ。ね、そうだよ、ヘレンさん、会社の人たちもいっぱいいたんだよ。

ヘレン 忘れちゃったわ、覚えてるのはトシくんのことだけ。

今日子 ハハハハハハ。

ヘレン ずっといらっしやるんでしょ、またのちほど。

ヘレン、退場。

今日子 あたし帰るわ。

俊 夫 だから違うんだって、誤解だって、みんなで飲んでホテルのバーで知り合ってさ。

今日子 あたしもあんな五十五歳になりたいわ。

俊 夫 あ、だからそれは今日子ちゃんを心配させないように。

今日子 心配じゃなくて確信。なにあの写真。

俊 夫 ふざけてたんだよ、まあちよつとしたノリでさ。

今日子 お酒にも女にもギャンブルにもノリで溺れるってか。

俊 夫 だからちがうって。

今日子 明日電話して、今日きつと出ない。

今日子、退場。一人残った俊夫、仕方なく散らかしたカード類をしまい、競馬新聞を放り出し、うなだれてパドックを眺める。と、ヘレン登場。

ヘレン トシくん、あっちで飲まない？

俊夫 ああ、いいですね。

ヘレン 彼女も一緒に（退場）……

俊夫 ああ、あれはもう帰りました。ただの友達ですから。

俊夫、ヘレンを追って退場。

アナ ただいまより、第一レース出走馬が本馬場に入場いたします。

再び今日子登場。笑顔で俊夫に謝ろうと思ったのだが俊夫は
いない。横山登場。今日子には気づかず新聞を読む。柴田登
場、今日子に近づく。今日子、退場。柴田、横山の側に寄っ
て、

柴田 よく来んの。

横山 たまにですけどね。

柴田 金欲しいんだ。

横山 給料安いですから、ねえ。

柴田 お互い様だよ。どれ買うんだい。

横山 これね、②―③が本命だと思っただけですがねえ。

柴田 おう、両方ともつええな。

横山 それに⑤番をからめようと思ってるんですわ。距離がぴったりですか
らねえ。

柴田 来るかもしんねえな。三角買いか。

横山 ところが⑦番も気になってましてね。

柴田 プリティテンドウ、上り調子だな。

横山 で、ウエディングアンナって馬もね。

柴田 ああ、あいつは逃げると怖い。

横山 あと⑧番のモームスマタフエタね。

柴田 差し馬だ。

横山 捨てられないんだな、これが。

柴田 あんた何枚買うつもりだい。

横山 ②―③
②―⑤
②―⑥
②―⑦
②―⑧

③―⑤
③―⑥
③―⑦
③―⑧

⑤―⑥
⑤―⑦
⑤―⑧

⑥—⑦ ⑥—⑧

⑦—⑧ ……十五枚ですか。

柴田 当たっても儲かんねえぞ。

横山 そうなんです、たまに当たるんですけどね、全然儲かんないの。

柴田 絞り方、教えてやろうか。俺の予想だ。(と封筒を渡す)

横山 あんた、予想屋さん？

柴田 礼はあとでいい。試しに千円ずつ買ってみな。

柴田、退場。横山、封筒を開けて中の紙を見る。馬券売場へ
向かう。幸子登場。手帳を見ながら馬券を買う。

幸子 ②—③ ②—⑦ ③—⑦ 千円ずつ頂戴。……ありがと。

幸子、退場。横山、窓口へ。

横山 ②—⑥ ②—⑧ ⑥—⑧ 千円ずつください。

横山、受け取った馬券を眺めながら退場。

音楽、バーのざわめき。グラスを持った田原とヘレン登場。

田原 へえ、じゃあヘレンさん、結構あたるんだ。

ヘレン 当たるわよ、当たらないで競馬好きな人いる？

田原 俺なんか結構そのタイプだけど。

ヘレン 邪念があるからじゃない。

田原 邪念？

ヘレン 女の子なんかと来るから。

田原 ああ、あれほんとただの友達。

ヘレン そうかしら。あたしシヨックだったんだから。

田原 うふふ、またまた。

ヘレン ほんとお。

田原 くくく、どうやって当てんの、馬。データ？

ヘレン そんなのいいの、新聞お持ち？

田原 あります。

ヘレン こうやって名前の上に手を当てるでしょ、そうすると勝つ馬が熱いの。

田原 ほんとかなあ。
ヘレン ほんとよ、ちょっとやってみて。
田原 どれ。
ヘレン こうやってね、ひとつずつ当ててくの。
田原 くくくく。
ヘレン だめよ集中しなきゃ、目つぶって。
田原 くくくく。
ヘレン これは？
田原 わかんない。
ヘレン もっとやさしくさわって。
田原 くくく、あ、なんか熱くなってきた。
ヘレン きた？
田原 きたきた、アチーッ。
ヘレン トシくん、ウソ。
田原 ウソだぴょーん、くくくくく。

井崎登場。すでにヘレンを見つけていたのだが声をかけそこ

なっていた。

ヘレン あら、サムくんこっち。

井崎 あ、そこにいたの、全然気がつかなかった。

ヘレン こちらトシくん。

井崎 あ、どうも。

田原 どうも。

ヘレン サムくん。

田原 サムくん。

井崎 外人じゃありませんよ。

田原 わかります。

井崎 井崎修っていうんですが、ヘレンの奴がサムくんサムくんてねえ。

田原 ハハハハ。

ヘレン なかよくしてね、呼んでみて。

田原 サムくん。

井崎 トシくん。

男、二人とりあえず笑う。

ヘレン サムくん、上手なの。いっぱい儲けてごちそうしてくれるって。

井崎 そのあともOKになったよ、商工会議、朝までかかるって電話したから。

田原 ハハハOKなんだ。

井崎 いや女房もちはいろいろたいへんでしてね、こんなとき困っちゃう。

田原 ハハハ。

井崎 学生？

田原 いや、勤めています。

井崎 お若く見えるな、おいくつ。

田原 二十七。

井崎 じゃ三つちがいだ、私と。

田原 三十ですか。

井崎 うん、結婚早かったからフケんの早くてね、ハハ、ジョークですよ。

田原 わかります。

井崎 どういうご関係？

ヘレン 心配？

井崎 いや、そんなことないけどさ。

ヘレン 弟みたいなの、トシくん。

井崎 あ、姉と弟って感じた、なんにもないんだ安全なんだ。

田原 ハハ、弟なんだ俺。

ヘレン 義理の弟。

田原 ほら危険だ、義理だもんちょっと危険でしょ。

井崎 うん、ちょっとだな、ちょっとだけ。

アタッシュケースをもつて的場登場。

ヘレン ヒロくん。

的場 あ、来てたんだ。

ヘレン 待ちぶせしてたの。

的場 今日は一人でやるよ。

ヘレン あたしがいると邪魔？

的場 邪魔じゃないけど。

ヘレン　じゃ、一緒に行こう。

的場　だけど……いいの？

ヘレン　だいじょうぶよなかよしだから、ね。

井崎　う、うん。

ヘレン　ほら。

的場　なにかご迷惑おかけしませんでした？

田原　いえ、なにも。

的場　あ、飲み物代お支払いします。

井崎　いやいや、そんなねえ。

的場　じゃすみません失礼します。

ヘレン　バイ。

田原・井崎　バイ。

ヘレン、的場と腕を組み退場。田原たち、笑いながら見送る。

井崎　ハハ……なにかな、この状況は。

田原　なんですかね。

井崎 ほんとはどういうご関係？
田原 まあ、再会ってやつですか。
井崎 恋人。
田原 いやあ、一度だけドンチャン騒ぎして。
井崎 ああ。
田原 サムくんは、おつきあい長いんですか。
井崎 いや、一〇分ぐらい。さっきパドックでさ。
田原 ああ。
井崎 なんかいきなり盛り上がっちゃってさ、ほらなんていうか、その気にさせるから、彼女。
田原 わかります。
井崎 もう、帰ってこないかな。
田原 かな。
井崎 予約いれちゃったんだ、レストランとホテル。
田原 ええ。
井崎 ああ。（とカウンターにつつ伏す）
田原 ……サムくん。

井崎 気持ちやり場なくてさ。

田原 俺も結構そうです。

井崎 君もそうだよね。

田原 せっかくだから競馬やりましょうよ。

井崎 やる？

田原 パーツと当たれば忘れちゃいますから。

井崎 そうだよね、どれ買おう。

田原 俺、さっきから研究してたんですけどね、このズッコンマドンナとウエディングアナに印つけたんスよ。

井崎 ②―⑥か、⑥が人気薄だ、二〇倍はつくね。千円ずつかけよう。

田原 いいんですか、もっと検討しなくて。

井崎 検討したって、たいてい見当ハズレさ。

田原 じゃ買ってきます。

井崎 ここで買えるんだ。(カウンターに) ②―⑥、二千円。

カウンターのなかから馬券がサツと出てくる。

井崎 さあ、ツキを変えよう。このままじゃうちにも帰れんからな。
ア ナ これより第一レースの出走です。

ファンファーレ。ポールに旗が上がる。観戦席に、横山、幸子、ヘレン、的場、柴田、今日子が集まってきてレースを見る。実況アナウンスがレースを告げる。

実況 さあ、各馬ゲートにはいりました。いよいよスタートです。きれいな

スタートを切りました。五百万以下の牝馬限定のレース。出走馬八頭。
① 枠トンデモトモチャン、つづいて予想通り⑥ 枠ウエディングアンナが飛び出しました。後続集団、青い帽子ダイナマイトマキコ、黄色い帽子リンゴヒメ、ズッコンマドンナはここにいます。一馬身遅れてマライヤハヤイヤ、プリティテンドウ、さらに最後尾からモームスマタフエタ。しんがりからどんなレースをみせるのか。おっとマライヤハヤイヤが動いた、リンゴヒメ、ダイナマイトマキコを抜いてウエディングアンナと並んだ。ズルズルと下がっていくのはトンデモトモチャンだ。伸びない伸びないトモチャン伸びない、下がった下がった十馬

身差、トンデケトンデケトンデケトモチヤン。世間はまだ君を待っている。さあ後続集団も差をつめ一段、もつれあうようにいま第四コーナ―をまわって直線に入りました。ウエディングアンナ逃げるぞ、ウエディングアンナ逃げるぞ、逃げたか逃げたか、ウエディングアンナ。いやマライヤハヤイヤが来た。マライヤハヤイヤが来た、中を割ってズッコンマドンナだ、ズッコンマドンナ、残り百メートル、モームスマタフエタもきた。アンナをかわしていまズッコンに半馬身差。マタフエタマタフエタマタフエタが逆転か、アンナもしぶとい。いやズッコンだズッコンだ、ズッコンズッコンズッコーン。② 粋人気のズッコンマドンナ。ズッコンマドンナ、ズッコンマドンナが勝った。二着は⑥ 粋ウエディングアンナです。アンナ粘りました。

ヘレン、的場、今日子、柴田、退場。

井崎 やった！ いくらだね。

田原 二十四倍ついています。

井崎 四万八千円だ、やったね！ やったね！ これでツキが変わったぞ。

アナ　ただいまのレースは審議中の青ランプがついております。お手元の勝ち馬投票券はそのままお持ちください。

田原　ハハ、審議中ですって。

井崎　かまやせんよ青ランプだからゴーゴーだ、よし何か高い物を注文しよう。君。

カウンターの下から手が出る。

田原　ブランドーですか。

井崎　いやもっと派手な奴だ、このスペシャルフルーツシャンテリーてのはどうだね。シャンテリーだぞ、シャンテリアみたいじゃないか。

田原　それ二つ。

手が承る。

井崎　ヘレンがなんだ、そう思わんかね、男に幸せを連れてくるのは女より馬だ。

田原 まったくです。

井崎 競馬のいいところはここだよ、トシくん、どんなに落ち込んでいても馬券が当たれば世界を征服したような気持ちになる。世界の運命がわが手中にあるような気持ちさ。

田原 こういう言葉があります。人類には二種類ある、男と馬だ。

井崎 ハハハ、女はどこ行った。

田原 うまやでレゲエのおじさんを生んでいます。

井崎 ハハハ、どこがおもしろいかわからんが何でも笑っちゃうなこういう時は。

手が二つのシャンテリーをサーブする。花火がついていたり
派手。

田原 やあ、来た来た。

井崎 来たか、シャンテリア。

田原 こういふ犬いますよね。

井崎 あれはヨークシャーテリアだよ全然ちがうよ。ハハハ。

二人、食べ始める。

アナ ただいまの審議の結果を申し上げます。

田原 フッフ、鏡山審判部長かな。

アナ ② 枠、ズッコンマドンナが最初にゴールに入りましたが、第四コーナー前で⑤ 枠リンゴヒメの進路を妨害したため降着、ビリツカス。したがって一着、⑥ 枠ウエディングアナ、二着、⑧ 枠モームスマタフエタと確定しました。マタフエタ、大好き。

二人、黙って食べている。

井崎 ……甘すぎるな。

田原 ええ。

井崎 ……花火、邪魔だな。

田原 ほんと。

井崎 ……いくらだっけ、これ。

田原 二千五百円。

井崎 ……トシくん、競馬終わったならレストラン行こう。

田原 ええ徹夜で遊びましょう。

井崎 ホテルに泊まっちゃってさ。

田原 マッサージ呼んで、

井崎 Hなビデオ見てさ。

田原 楽しい夜になりますよ。

井崎 うんうん……

井崎、カウンターにつつ伏す。音楽。

馬券の当たった横山登場。

井崎と田原は退場。

横山、柴田を探しながら観戦席へ。柴田登場。

横山 いやあ、あたりました。三万円になりました！

柴田 よかったな。

横山 ありがとうございます。いやあすごいなあ、降着があってもなくても

とれてました、どうしてわかったんです？

柴田 素直に馬見てりやわかるよ。

横山 それがすごいなあ、私なんか見ても全然わかんないもんでしてね。あ、お礼はいかほど。

柴田 気持ちでいいよ。

横山 そうですか、悪いですねえ。

と、横山、千円札を一枚出すが、柴田、ジロツと見るだけ。

横山 ……いやこれじゃおさまりませんよ私の気持ちは。ほんとはもっとお渡ししたいんですが、次のレースもありますもんでね。

柴田、封筒を渡す。

柴田 中穴で決まる。一万、賭けてみな。

柴田、退場。横山、封筒を開く。新聞と見比べ、新聞のほう

を信じてしまう。そして馬券売場へ。新聞を見ながら、

横山 ③―⑤と③―⑥……二千ずつ。

馬券を受け取り、いったん行きかけるが、封筒を開き、再び窓口へ。

横山 ①―⑧、五百円。

アナ 本日はご来場ありがとうございます。ただいまよりパドックに第二レース出走馬が入場いたします。

音楽、横山、馬券を受け取り、来ないだろうなと思いながら退場。すれちがって今日子登場。馬券を買ってみようかどうかどうしようか、すこし迷う。幸子登場。窓口で決心した今日子とハチ合わせしそうになる。

幸子 あ、ごめんなさい。

今日子 お先にどうぞ。

幸子 そう、ありがとう。……(手帳を見ながら)③―⑤、③―⑥、⑤―⑥、千円ずつ頂戴。ありがとう。

幸子、窓口前を離れ馬券や手帳をハンドバッグにしまう。
今日子、窓口へ。

今日子 シネマパラダイスとブルーベルベット、そうです①―⑧、二百円ください。
さい。

今日子、受け取り、初めて買った馬券をまじまじと見る。

幸子 競馬はじめて？

今日子 はい。

幸子 どうしてその馬買ったの。

今日子 名前です。名前がいいなと思って。

幸子 あたんないわよ、そんなじゃあ。

今日子　でもよくわかんないしィ。

幸子　わかんないしィ、じゃすまないのよ競馬は。勉強しなきゃ。

今日子　はい。

二人、バーへ歩きながら。

幸子　どうしてやろうと思ったの。

今日子　つきあってる人が好きなんです。なんで好きなのかなと思って。

幸子　あたしとおんなじね。幸子っていうの。

今日子　今日子です。

幸子　なんか頼みなさいよ。

今日子　ハーパーソーダください。

幸子　チュー杯。

手が二つのグラスをサーブする。

幸子　あんたの馬は来ないけど、乾杯。

今日子 乾杯。……あたしとおんなじってどういうことですか。

幸子 五年前死んだ亭主がそうだったのよ。あんたの彼氏がどの程度か知らないけど、うちのはひどかったわ、お酒、競馬、女、豪華三点セットでのめり込んだわよ。そのころは馬なんか大ツキライだったけどね、競馬に負けっぱなしじゃ悔しいじゃない、後家さんになってからちよっとかじってみたの。

今日子 どうでした？

幸子 ……おもしろい。

今日子 じゃあ旦那さんの気持ちがわかった？

幸子 それはわかんないわね、亭主は相変わらず馬鹿だと思う。

今日子 どうして？

幸子 つまり、おもしろいって言ったって、つまらないテレビや小説よりはおもしろいって程度。人生台無しにするようなもんじゃないのよ。

今日子 けど、そういう男の人って結構いますよね、うちのおじさんも。

幸子 おばさん苦労してるでしょ。

今日子 いつも母に相談しています。

幸子 女の競馬はね、ちよっと儲けて今の人生をちよっとよくしようとする

だけなの。だけど男は、大儲けして人生コロツと変えようと思うわけ。だから大穴狙って損して、取り戻そうとしてまた損して。

今日子 それでハマっちゃうんだ。

幸子 あんたの彼氏、ここにいるの？

今日子 ええ、……はぐれちゃったんですけど。

幸子 じゃあ、探して連れていらっしやいよ、パドックにいるわ。(金を払う)

今日子 お願いします。

幸子 馬も男もすっかり見ないとね。

今日子 はい。ごちそうさまでした。

幸子、退場。今日子、ハーパーソーダをグイッと飲み干す。

馬のいななきや、歩く音がかすかに聞こえてくる。今日子、

パドック見学場へ。

あたりを見回し、あきらめて行きかけるところに田原手を拭いながら登場。

田原、パドックの方を見ながら新聞を開こうとして今日子を

見つける。

田原 あ、いたんだ。

今日子 帰ったと思った？

田原 うん、怒らせちゃったから。

今日子 あの女の人は？

田原 一杯飲んで別れた。……誤解されても仕方ないと思うけど、ほんとに何にもないんだ。俺、かるいからああいうことやっちゃうけど。

今日子 あたしもね、大人気なかった。

田原 いや、当然だよ。

今日子 結婚するって不安じゃない。いま何かとケチつけようとしてる時期なのかもね。

田原 お互いにね。

今日子 さっきレース見たの。面白かった。

田原 あ、そう。

今日子 馬券も買ったよ。買ったほうがドキドキすると思って。

田原 あ、そう、何買った？

今日子 シネマパラダイスとブルーベルベット。

田原 シブイの買ったね、穴じゃない？

今日子 いいよ、あたんなくても。一分半の映画と思うから。

田原 じゃあ俺は何買おうかな。

上手前から井崎が手を拭きながら登場。

井崎 さあトシくん、次で大儲けして遊んじゃおう、男だけの夜、二人はホテルで燃えちゃうぞー。

田原 あ、この人、サムくんていつて。

井崎 なにこの女っ、サムはおしまい、いまからサブです。

今日子 ……そういう趣味もあったんだ。

今日子、上手中央から退場。

田原 あ、今日子ちゃん、全然誤解、そんなわけないじゃない、こんな地味なおっさんと……

田原、今日子を追い、いったん退場。井崎、途方に暮れる。
しばらくして田原、肩を落とし戻る。

井崎 あ、なんか悪いことしたかな。

田原 いえ、些細なことツスから。

井崎 サブがまずかった？

田原 いや。

井崎 ほんとにそう思っちゃったんだ彼女、恋人？

田原 まあ。

井崎 とんでもない誤解だよね、いまごろ彼女、頭ん中でさ、あたしのトシくんがあんな地味なおっさんと、なんてグルグル回っちゃってさ、君の言い方、印象強かったから。

田原 あ、すいません、気にしてます？

井崎 いや全然、よくいわれるし、私見た人がみんな心で思うことだし、
…全然。

井崎、うなだれる。

田原 楽しみましょうよ、何があっても俺、今夜はサムくんにつきあいます。
井崎 うれしい。ほんとはちょっと疎外感があったんだ、地味っていわれて。
僕は君にとって名もないただの地味なおじさんかって。

田原 すいませんついイキオイで。ほら、極端な言い方しないと伝わらない
時があるでしょ、女の子って。

井崎 うん、男同士にしか数えられない心のひだがあるよね。ね。

田原 ……言い方は苦手ですけど、だいたい同感です。

井崎 いまわかったよ、みんなこんな気持ちで二丁目に流れていくんだな。
田原 あの、もうやめませんか？ それ。

汗を拭きながら的場登場。 田原たちには気づかず観戦席へ。
新聞を検討している。

井崎 ……あいつだ！
田原 ああ、ヘレンの。

井崎 何か一言いってやりたいな。

田原 やめましようよ、女のことは忘れましよう。

井崎 もうこの年だ、二丁目の店に出てもどうせコミック担当だ。

田原 若くても同じです。

井崎 女を忘れた中年なんて。「昴」のないカラオケだ。

田原 サムくん、アリスか。

井崎、観戦席へ。田原、後を追う。だが近づくと、ビビる。

井崎 なんと呼びかけるかね。

田原 威厳をもって、君！

井崎 その次は？

田原 君ときたら……待ちたまえ。

井崎 何を待つんだ、座ってるぞ。

田原 まあへレンとのことや、もろもろです。

的場に近づき、井崎、ズカズカと。

井崎君、待ちたまえ！

的場は？

井崎 ハンカチが落ちてるよ。

的場 どうも。

井崎、田原、所在なく立ちつくす。

的場 さきほどバーでお会いしましたよね。

井崎 うん、そう、覚えてくれたんだ。

的場 ヘレンとお知り合いのようでしたから。

田原 ヘレンさんとはどんなご関係なんですか。

的場 ……先ほど僕が彼女を連れ出したことを悪く思っ
ていらっしやいます？

井崎 いや、そんなふうには。

的場 心証を害したのならごめんなさい。でもあの状況から考慮するに、僕はあなたがたに感謝されこそすれ恨まれる必要はないということがで

きるでしょう。

田原 ……すみません、もう一度お聞かせいただけますか。

的場 あ、申しわけありません、的場です。

田原 田原です。

井崎 井崎です。

的場 外務省に勤務しています。つい頭の中で英語に訳してしまう癖がついて、構文や慣用句にこだわってしまいます。(話の流れを忘れ、新聞を
読み続ける)

田原 ……あの、ヘレンのことなんですけど。

的場 あ、そうでした、僕がその件に関して一言だけ言わせていただくとするならば、あの女には近づかないほうがよろしいだろうということです。

田原 なぜでしょう。

的場 災いが起こります。

井崎 ……たたりか、なにか。

的場 いえ、本人の問題です。これ以上は言えません。あなたがたもあの女と一〇分でも会話を交わしたのなら充分にその理由はおわかりだと思

いますが。失礼。

的場、席を立ち、退場しようとする。

井崎 君、待ちたまえ。そんな言い方じゃほんとに失礼だよ。私らはヘレンと一緒に今夜を楽しく過ごそうと思った。それを君がアツという間にさらっていった。まあこんなのは数少ないチャンスにしがみつくと中年男の愚かさかもしれないが、ともかく君の態度や言い方は、両方とはいわんが、片方土足だったように思う。

田原、うなずきながら拍手する。井崎、うなずき答える。

的場 状況から見て、僕に対してではなく、ヘレンに怒るべきではないですか。

井崎 そりゃまあ、理屈はそうだが。

的場 なのに怒れないんだあの女には。怒れずズルズルとハマッていくんだ！

田原 ズルズルとって……

的場 口外しないと約束していただけですか、僕の言うこと。

井崎 なんだね大きさに。

的場 僕の人生が滅茶苦茶になります、いやすでに滅茶苦茶ですが。

井崎 約束するよ。

的場 役所の金を使い込みました。監査はあさつてに迫っています。銀行やローンから借りられるだけ借りましたがあと八〇〇万残っています。

田原 八〇〇万！

的場 それを競馬で稼ごうとこの三日間通っています。勝ったり負けたりで一〇万ほどすりしました。いま手持ちの金は二〇万です。あと四レースで、これを八〇〇万にしなければなりません。

井崎 四〇〇倍か……四〇倍です！……ハハ、自分でつつこんじゃったよ。

田原 そんな金いったいなにに。

井崎 ヘレンに使ったのか！

的場 そうです、それも一年で。

井崎 のこってるものはないのかね、不動産とかダイヤとかさ。

的場 南米とヨーロッパとアフリカ、海外旅行に三回行きました。京都、金

沢、伊豆、国内旅行は一〇回以上行きました。イタリアンレストランを借り切ってパーティーを月に二回、おまけに彼女はホテルのスイートルームに住んでいます。

井崎 言ってもいいかな。

的場 どうぞ。

井崎 ばか。

田原 僕も言います、ばか。

的場 僕も言います、ばか……毎晩一人になるたびに、何度も何度も呟いた、この言葉が僕には一番の親友です。ばか、ばかばか、僕のばか。そう呟くことでホツとする、僕は死んでも直らないばかだ。

ヒヒーンと馬が鳴き、コースのほうで一頭ずつ駆ける。返し馬が始まったのだ。

的場 とりあえず、いまの僕の夢はサラブレッドに生まれ変わりダービーの

五着になること。

井崎 なぜ五着だね。

的場 賞金二二〇〇万円、のこり四〇〇万は手切れ金です。

ヘレン登場。

ヘレン あ、ここにいたんだヒロくん、おうま見に行きましょうよ。

的場、振り返らず、唇をかみしめている。

ヘレン あら二人ともどちら行ってたの？ 探したのよ、淋しかったわあ。

井崎 淋しかったんだあ。

と、たちまちへ口へ口になる井崎を田原、たしなめる。

ヘレン あ、トシくん当たったんだ。

田原 いえ。

ヘレン 隠してもダメ、当たった人は笑わないようにするのよ、なにごちそうしてくれる？

田原　しゃぶしゃぶう。

へレン　うれしい、ありがとう。

井崎、田原をたしなめる。

へレン　ヒロくん、行こう。勉強しないと大儲けできないわよ。お金返さなきゃいけないでしょ。

的場　君のために使った金だ！

へレン　あら、あたしだけじゃないじゃない。いっしょに使ったんでしょ。

それともケニア、つまんなかった？

的場　……楽しかった。

音楽。

へレン　でしょう。楽しかったねえ、ホテルが最高だったじゃない。

的場　うん……

へレン　窓がすごく大きくてね、シャワーからあがるでしょ、アフリカに裸で

立ってるみたいなの。

田原 ハハ、すごいね。

ヘレン 三日目ぐらいからね、シマウマと同じ時間に目が覚めて眠くなるの。
素敵でしょう。

井崎 うん、素敵だ。

ヘレン また行こう。

的場 行こう。

ヘレン じゃ、その前におウマ見に行きましょう。

的場 うん。

ヘレン トシくんたちは？

二人 僕たち、いい。

ヘレン ほんと、残念、じゃまたあとでね、バイイ。

二人 バイイ。

的場、二人にすぎるような目付きで、ヘレンに腕をとられ退場。

田原、井崎、なんといったらいいか、という感じで顔を見合

わせる。と、的場がひとりに戻ってきて、

的場 お二人、これもご縁です、この類いまれに見るばかりに、少々お付き合
いをお願いします。

井崎 うん、なにかできればねえ。

田原 相談に乗りますよ。

的場 大博打の相談にはあとでのっていただくとして、とりあえず次のレ
スです。あまり自信がありません。これを一万円だけ買っておい
てください。ヘレンがいるとまた惑わされるので。(と買い目を書いたメモ
と札を渡す)

ヘレン(声) ヒロくん。

的場 いまいくよ!……たちの悪いことに、僕はこのへ口へ口な自分が、す
こし好きなのです。

すぎるように、微笑むように、退場。

井崎 どう思うかね。

田原 どうって、自分で言ってた通り、ハマッたんです。可哀相には思うけど。

井崎 だが、どうもひとごととは思えなくてね。私が同じ立場でもヘレンにあの調子でやられたらさ。

田原 でもあそこまではいかない。彼はきつとエリートコースを歩いてきて、ヘロヘロになる自分が新鮮だったんでしよう。ヘレンがどんな女でも、ちよつと極端すぎますよ。

井崎 馬券はどうしよう、金もらっちゃったよ。

田原 それを買っておしまいです。深入りしないほうがいいですよ。

井崎 そうだな。

二人、馬券売場。

田原 何を買うんです、彼は。

井崎 (メモを開き) ①―⑧だ、シネマパラダイスとブルーベルベット。

田原 ええ？ (メモを見て) ほんとだ。

井崎 (新聞を見て) 五〇倍はつくね、大胆な馬券だ。

田原 これは来ないな、いや女の子がよくこういう買い方するんですよ、名前がかわいいとかいっちゃってさ。

井崎 彼、女性的だから。

田原 これじゃいつまでたっても金は増えないなあ。

井崎 君、どれが来ると思う。

田原 そうだな、このファイトクラブが安定してると思うんですよ。

井崎 ③ 粹か。

田原 あとブレードランナーね、連帯率高いですからねえ。

井崎 ⑥ だな、よし③―⑥ 買っちゃおう、これで。

田原 ノムんですか。

井崎 どうせ来やしないんだから。彼には①―⑧ 買ったっていえばいいさ。

田原 悪いな、井崎さん、さっきひとごととは思えないって。

井崎 なに、金がかからめばひとごとだよ。(窓口に) ③―⑥、一万円。いくらになるかな？

田原 一〇倍ぐらいですかね。

井崎 一〇万か、よし、ホテル呼んじやおう。

ア ナ これより第二レースの出走です。

ファンファーレ。ポールに旗が上がる。

横山登場。レースを見守る。

的場が駆けてくる。

的場 買ってくれましたか？

井崎 (さりげなく馬券を隠し) あ、買った。

的場 よかった。返し馬を見て、確信深まったんです。

田原 ハハ、でも競馬はわからないから。

的場 そのことはこの三日間でずいぶん勉強しました。確信なんて全然あて

になりませんよね。でもファンファーレが鳴るときはそんなことすっかり忘れます。世界は僕の思い通りになるとヒットラーのように確信します。

実況 さあ、各馬ゲートにはいりました。千五百万以下、八頭立て。スター

トです、ちょっとバラバラとしたスタートになりました。先頭は⑤
枠グリーンマイル、それをぴったりとマークして⑥枠ブレードランナ
ー、つづいて内から、ファイトクラブ、スピードフランケン、外から

青い帽子ツリバカサーサン、馬体を合わすようにして、ブルーベルベットはここにいます。そして⑦枠、バッファローギャロ、シネマパラダイスはなんとしんがり。さあ第三コーナーを回ろうというところ、ブレードランナーが先頭に立ちました。つづいて上がってきたのはフアイトクラブ。おっとどうしたんでしょう、スピードフランケンがズルズルツとさがった、フランケンさがった。どうしたフランケン、愛がないのになぜ生んだ。とうとう競争中止であります。さあ、波乱か。大波乱になるのか。各馬距離をつめながら第四コーナーに向かいます、先頭はフアイトクラブにかかりました。つづいてブレードランナー、この二頭が先頭グループ。二馬身ひらいて内からシネマパラダイス、ツリバカサーサンが不気味に忍び寄ってまいります。いよいよ第四コーナー。フアイトクラブ、ブレードランナーがここでスパートした。ほかの馬を一気に引き離します。強い、強い。主役はこの二頭だ、おっと大外からピンクの帽子、ブルーベルベット。内から内から①枠シネマパラダイス。⑦枠バッファローギャロ、差した差したこれはびっくり。単館ロードショーの時代は続くのか。外からベルベットも伸びる、伸びる、ベルベット伸びた。ベルベット一着。一着はブルーベル

ベット、ジョッキーのデビットが手を振ります。二着は内からシネマパラダイス。シネマパラダイスが2着。①―⑧、①―⑧です。

ア ナ 枠番連勝①―⑧、五二二〇円。

的 場 アーッ！（と嬉しいとも悔しいともつかない悲鳴を上げて）五〇倍だ、二〇万をぶち込んでれば一発でおつりが来た。当たっても当たらなくても悔しいのが競馬です。ともかく五〇万を払い戻して次のレースにぶち込もう。井崎さん、馬券を。

的 場が振り返るとすでに、二人は逃げだしている。

的 場 井崎さん。

的 場、二人を追って退場。音楽、観戦していた横山、馬券を見て頭を抱える。柴田登場。

柴 田 どうだ、やっただろ、五〇万になったじゃねえか、正直言っつてよ、俺も予想屋稼業は長いがこれだけの配当は滅多にねえよ、それもあんな

に勝負だって言っただけだからよ、へへへ、まあ、ちっと礼はずんでもらうぜ。半分でいいや、それでも文句はねえはずだ、二五万ありや三ヶ月は小遣いにこまらねえからな、よおどうした、あんまり嬉しくて口もきけねえか。

横山、柴田の前に頭を下げる。

横山 すみません予想屋さん、あなたの予想が信じ切れなかった。ほかの馬

券を買ってあなたの予想は五〇〇円しか買いませんでした。いつも私はこうなんです、一枚の馬券を信じこんで買うことができません。心の弱い人間です。ラーメン屋に入っても醤油にしようかミソにしようか、ワカメをいれようかコーンをいれようかさんざん悩み、結局好きでもないモヤシソバを注文し口をやけどして帰ってきたことがあります。

柴田 だからなんなんだ。

横山 この馬券は差し上げます。払い戻せば二万五千円になる。素晴らしい予想を信じられなかったお詫びの印です。

横山、背を向け頭を抱える。柴田、馬券を見て、いったんポケットに入れるが再び取り出して置く。

柴田 いらねえよ。

音楽。

柴田 あんた、予想屋なんて商売がなんであると思う。商売になるぐらい予想が当たるんなら人にいわねえで自分で馬券買えばいいと思わねえか。そういう奴らは捨てるほどいる。新聞で偉そうに理屈並べる評論家だって似たようなもんだ。そいつらの予想は素人よりは当たるだろう。だが羽振りは大したことねえ。なぜだ。馬当てる力は競馬の力の半分しかねえからだ。あとの半分は馬券買う力だよ。信じた馬券に大枚ぶっこむ度胸があるかねえかだ。俺もそれが足りねえ。だからいつまでも予想屋だ。あんたに謝られるほど偉かねえ。あといくら持つてる？

横山 五万あります。

柴田 俺に預けな、次のレースで一点勝負だ。
横山 しかし私にはそんな度胸が……馬券売場へ行ったらまた迷います。
柴田 いっしょに行こう。俺が買ってやる。
横山 お願いします。

二人、立ち上がり馬券売場へ。

柴田 十二頭立てだ。馬番で買う。勝負は④―⑤、ディアシャイロックとブルータスムード。オッズは低いが堅い線だ。
横山 おまかせします、もうあなたの予想は疑いません。
柴田 金。
横山 あ、はい……(財布から金を取り出し) 一、二、三、四、五、
柴田 確かに。
横山 あ、ちょっと待ってください。一、二、三、四、五、
柴田 あるよ。
横山 あ、ちょっと、一、二、三、
柴田 いいかげんにしろ。

横山 すいません。

柴田 じゃあいいな、買うぞ。

横山 あ、ちょっと待ってください。そんな買ったことないからドキドキしちゃって。

柴田 素人には大した金だからな。

横山 やめて、なんて叫んじやいそうです。

柴田 歌でも歌って待ってろ。

横山 はい。♪ フンガフンガフンガフン ドーダドーダ フンガフンガフンガフン オーダーダーデー

横山が歌っている間に柴田、声をひそめて馬券を買う。

柴田 買ったぜ。

横山 はい。(と安堵のため息)

柴田 (横山の胸ポケットの馬券を押し込み) ここにしまっておけ、眺めてまた心配になるといけねえからよ。

横山 はい。

この間に幸子が新聞を読みながら登場し、馬券売場へ。

柴田 馬券は忘れてレースを楽しめ。配当ばかり考えてたらいつまでも馬は
見えてこねえぞ。

横山 肝に銘じます。

柴田 じゃあな、またあとで。(退場)

横山 こんどこそ、お礼はたっぷりはずみずみ。

横山、胸ポケットに手を当て夢をふくらます。二人の会話を
聞いていた幸子、横山に近づき、

幸子 ちよつと。

横山 はい。

幸子 いまの予想屋でしょ。

横山 ええ。

幸子 関わりにならないほうがいいわよ。

横山 でも親切な方でしてね。

幸子 昔ひどい目にあったことがあんのよ、馬券のまれちゃってさ。

横山 そりゃ災難でしたなあ。

幸子 証拠も何もないから泣き寝入りしたけどさ。

横山 たちの悪いのがいますからねえ。

幸子 だからいまの男がそうなのよ。

横山 え？

幸子 まさかあんた馬券買ってやろうかなんて言われなかった？

横山 言われました。

幸子 で、どうしたの？

横山 買ってもらいました。

幸子 どこにあんのよ。

横山 ここです。

幸子 見た？

横山 いえ。

幸子 見てご覧よ。

横山 でもレースが終わるまで見るなって。

幸子 いいから、見なさいよ。

横山、胸ポケットから馬券を取り出す。

横山 ほら、④―⑤でしょ、これ買ってもらったんです。

幸子 いくら頼んだのよ。

横山 五万円。

幸子 これいくらの馬券よ。

横山 一〇〇円。

幸子 あとの四九九〇〇円、どこいったのよ。

横山 ……そのへんに落っこったのかな。

幸子 馬鹿！ だからのまれたんだって。

横山 えーっ。

幸子 あんたカモにされたのよ。ポーツしてるから。

横山 だけどあの人、予想ズバズバ当てましたよ。

幸子 それがアイツらの手口なのよ。カモはあんた一人じゃないの。ポーツとしたの何十人もつかまえて別々の予想を教えるわけよ。で、当たっ

たカモにだけ声かけてお金せびるわけ。その中でも特にブーツとした
スペシャルカモからはお金預かって違う馬券買ったたりね。

横山 しかし、そんなブーツとしたのがいますかね。

幸子 あんたがそうなのよ！

横山 そうかつ。

幸子 早く追っかけて取り戻しなさいっ！

横山 はいっ。

横山、退場。幸子、あきれ顔で見送り再び新聞を開く。音楽。

アナ 皆様、内馬場にご注目ください。本日のインターバルショーはおりこ
うサラブレッド、太郎君の玉乗りでございます。

幸子、つまらないことするわね、という表情で検討に集中。

アナ 華やかな、火の輪くぐりもご披露いたします。

幸子、検討に集中。

ア ナ ニンジンを見ると笑います。太郎君、ニンジン。(馬、笑う)

幸子、あわてて見に行く。と、今日子登場。

今日子 幸子さん。

幸子 あら。

今日子 (当たり馬券を見せ) 一〇二四〇円。

幸子 こわいわねビギナーズラックは。おめでとう。

今日子 あたし才能あるかもしれない。

幸子 当たると誰でもそう思うのよ。……それより彼氏、どうしたの、連れてこなかったじゃない。

今日子 また喧嘩みたいになっちゃって。なんかあたしその人と喧嘩したがつてるみたいなんです。

幸子 結婚前はそうみたいよ、するだけしとかないと安心できないんですよ。
今日子 かな。

幸子 冠婚葬祭ってよくできてんのよ。めんどくさいこといっぱいあるじゃない。結婚のときはそれがおたがいのテストになるし、人が死んだときはそれで気がまぎれんの。

今日子 そうなんだ。

幸子 うちの亭主のときも大変だったわよ、借金取りは来るわ、ガラの悪いあんちゃんたちはピーピー泣いてるわ。

今日子 競馬のお友だちだ。

幸子 そう、おまけに囲ってた女が葬式手伝わせてくれてノコノコ出てきちゃってね。

今日子 どうしたんですか。

幸子 会わないで帰ってもらったわ、花輪とモナカだけもらったけど。

今日子 モナカ？

幸子 通夜ぶるまいにっていっぱい持ってきたのよ。かわってんでしょ。

今日子 なんか凶々しいですね。

幸子 その花輪がまた目立つちゃってさ、苗字も何にもなくてヘレンって書いてあんの。

今日子 ヘレン？ 外人ですか。

幸子 日本人よ、源氏名かなんかじゃない。

今日子 その人、知ってます。さっきここで会いました。

幸子 モナカ持ってたきそうだった？

今日子 あの人なら持つてくる。

幸子 搜して。

今日子 え？

幸子 一度見たかったの、モナカの顔。

幸子、今日子、退場。

田原と井崎が新聞で顔を隠しながら登場。

柴田が登場し、会話を聞いている。

田原 だいたい他人に馬券を頼むなんてことが間違ってるんだ。

井崎 そうだ。

田原 人間なんて弱いものです。どうせ当たらないと思ったら当たりそうな馬券を買うのが当たり前ですよ。

井崎 しかしシラを切るといふのは、ちょっとひどすぎやせんかね。

田原 人生は長いんです。悪魔に魂を売りわたす時だってありますよ。
井崎 五〇万か、安い魂だな。

的場、登場。

田原 来ました。いいですか、まず顔を合わせたら残念だったねというんです。

井崎 うん。

田原 当たったじゃないかと言われたら意外そうな顔をする。

井崎 うん。

田原 ①―⑧来たでしようと言われたら、

井崎 え、①―⑧？

田原 もっと驚いて。

井崎 えっ、①―⑧？

田原 そう、僕はメモに書かれた①―⑧を⑦―⑧と読んでしまった。

井崎 うん、①と⑦は似てるからな。

田原 そして外れたと思って馬券とメモを捨てた。

井崎 苦手だな嘘は、冷汗が出そうでき。

的場、フラッと近づいてくる。

田原 最初俺がやります。ポイントお願いしますよ。
井崎 うん。

的場、二人の前を通りすぎようとする。

田原 ……やあ。

的場 あ、どこ行っちゃったの、探したんですよかったあ。

田原 残念でしたね、さっきのレース。

的場 え、当たりませんでした？

田原 当たらなかったんじゃないかなあ、惜しかったけどね。

的場 だってシネマパラダイスとブルーベルベットですよ、①―⑧来たじゃないですか。

井崎 え①―⑧？

的場 そうです①―⑧、……！ ①―⑧買わなかったんですか？

田原 ⑦―⑧って書いてありましたよ。

的場 ちがいます①―⑧です、メモありますか？

井崎 捨てちゃった。

田原 たしか⑦―⑧だったけどなあ。

的場 もしかしてあなたたち！

二人、あわてて新聞で顔を隠す。

的場 ……ごめんなさい、いま一瞬恐ろしいことを考えてしまったんです。

あなたたちが馬券をノンだんじゃないかって。そんなことあるはずありませんよね。確かに①―⑧と書いたんです。でも僕の字はミミズがのたくったような字だから、きつとあなたたちは読み違ってしまっただけです。……あきらめます。疑うことで競馬場に咲いた友情の花を傷つけたくないから。

的場、退場。田原、井崎、見送り顔を見合わせ、笑ったりす

るが後味が悪い。モゾモゾした挙句、

田原 的場さん、すいませんでしたー。

井崎 悪魔と呼んでくれ私をー。

などと叫びながら的場を追って退場。

音楽。柴田、田原たちを見送り退場。

へレン登場。バーカウンターで注文し、的場たちを待つ。手持ち無沙汰にカウンターに置かれた新聞を広げる。

幸子登場。飲み物を注文し、へレンを捜しに行った今日子と待ち合わせている。

へレン すみません。

幸子 はい。

へレン この黒い三角は何？

幸子 穴。

へレン ああ、じゃあ白い三角は？

幸子 連下。二着なら来るかもしれないって馬よ。

へレン 星印は？

幸子 大穴。

へレン じゃあみんな来るかもしれないじゃない、ずるいわね。

幸子 競馬はじめて？

へレン よく来るけど買わないの。

幸子 買わなきゃつまんないじゃない。

へレン いいのよ、馬見てれば。

幸子 馬、好き？

へレン 表情があるでしょ。

幸子 うん、いつも何か考えてるって顔ね。

へレン 目が淋しそうだわ。

幸子 何かを思い出してるような目だわね。

へレン そう思う？

幸子 そう思う。

へレン あたしね、馬はみんな昔は人間だったと思うの。

幸子 そんな気もする。

へレン 死んじゃったお友だちが馬になったかもしれないでしょ。

幸子 なるほど、そう考えると楽しい。

へレン 今日も一頭いるの。

幸子 友達だった馬が？

へレン そう、好きだった人。

幸子 へえ。

へレン 競馬キチガイだったの。絶対ウマに生まれ変わるって言ってたのよ。

幸子 男はみんな一緒ね、うちの亭主とおんなじ。

へレン 死んだら棺桶から走り出してやるって。

幸子 ハハ豪快だね。

へレン でもお葬式に出れなかったの。

幸子 急に亡くなったの？

へレン そうじゃなくて、奥さんがだめだった。

幸子 ああ……

へレン その気持ちもわかるでしょう。

幸子 そうね……

へレン しかたないから、人形町のモナカだけ置いてきたの。

幸子　へえ、モナカね、モナカ……

ア　ナ　ただいまより第三レース出走馬が本馬場に入場いたします。

ヘレン　お馬見に行きませんか？

幸子　あ、いいわあたし、ちょっと人待ってるから。

ヘレン　じゃあ。(金を出そうとする)

幸子　いい、あたし払っておく。

ヘレン　そうですか、ごちそうさまでした。

ヘレン、退場。幸子、一瞬、ヘレンを追おうとするがやめる。

今日子登場。

今日子　幸子さん、やっぱり見つからない。動かないで待ってたほうがいいかも。

幸子、黙って金を払い、

幸子　もういいわ。

幸子、退場。今日子、追う。

ア ナ ただいまより、第三レース出走馬が本馬場に入場いたします。

音楽。的場、つづいて田原、井崎登場。

的場、ため息をつく。

井崎 ごめん、ほんとにごめん。

的場 もういいです。

井崎 よくないよ、君の背中、許してくれてない。

的場 許すとか許さないとかもうやめませんか。いつまでも事態が進展しないと思います。

田原 そうですよ、井崎さん、次のレースのことを考えましょう。

井崎 だけど、なんか、気持ちが悪さ。

的場 僕は今夜、八〇〇万の金をつくるためにここへ来ました。あなたに謝ってもらうために来たのではありません。

井崎 うん、知ってる。

的場 本来の目的を忘れ、関係の改善や修復に気を取られていては、世界の

中で孤立する現在の日本と同じ運命をたどるのではないでしょうか。

井崎 そんな国際問題に発展しなくてもさ。

的場 困った時や頭が混乱した時は、まずいったん、視野を大きく持つこと

です。自分の抱える問題など国際紛争に比べれば取るに足らない問題だ。少し気持ちが楽になったところで目の前の競馬新聞に目を落とす。

田原 できてるね、的場さん。

井崎 これだけ冷静な人物がなぜ八〇〇万もねえ……

的場 人体の神秘です。僕にもわかりません。

井崎 君に比べれば私など実にわかりやすい人間だよ。考えるのは商売と馬と女のことだけだ。たいしたウラもオモテもない。トシくんは？

田原 僕のウラオモテも定期入れにしまえる程度です。

井崎 すこしうらやましいな場的場君が。いや、こんなふうにはメをはずせたらさ。

的場 やめてください。本人は針のムシロです。

田原 やっちゃいましょう、時間がもうありません。

井崎 そうだな、どれが本命だ。

田原 ブルータスムード。これがまず堅い。

井崎 うん。

田原 問題は二着です。スーパージュリエット、ガンバルマクベス、イカセロオセロこの三頭のどれか。

的場 ジュリエットは体重が一〇キロ落ちてます。追い切りもよくなかったと書いてありました。

田原 俺もないと思います。はずしましょう。

井崎 デイアシャイロックは？

田原 ローテーションから見て、今週は使うだけだ。無理はさせないでしょう。

的場 これは？ 名前が気になるんです。

井崎 ボンレスハムレットか、確かに気になるな。

田原 気になるってだけじゃありません？

井崎 六着、六着、七着、九着、前走が一一着か。成績はひどいよ。

田原 買う根拠がまるでないですよ。

井崎 あるとすればオッズだ。単勝で五〇倍になる。

的場 やめましょう、わからないものだから、つい名前で。
田原 オセロは左回りに弱いよ。それにいつだって三着だ。
的場 そうですね、どっか勝負弱い。
田原 マクベスに絞ります？
井崎 絞るか。
的場 絞りましょう。
井崎 いくらくいかね。
田原 今日のレースじゃ一番堅いと思います。けっこういつでもいいんじゃないですか。
井崎 三万か？
田原 五万？
的場 オッズは？
井崎 ⑤―⑥か、……九、五倍。
的場 ……一〇万いきましよう。
田原 やるな場的場さん。
的場 僕も必死ですから、勝負します。
井崎 うん、ここで一〇〇万にしとけばあとは楽だ。

田原 あと二レースで八倍か。

井崎 そうだよ、無理な話じゃない。

的場 買ってきます。

井崎 いかうかいっしょに。

的場 ひとりで行きます。

田原 やめましょう、俺たちは信用ないし。

的場 いや、そうじゃなくて、なんか、震えちやいそうだから、ハハハ。

田原 ハハ、ここで待ってます。次のレース、検討しておきますよ。

的場 お願いします。

的場、ゆっくり馬券売場へ。明かりはその周辺に絞られる。

馬のいななき。一頭、走る音。的場、不安な気持ちと戦いな

がら札入れを取り出し、一〇万円を数える。深呼吸して窓口

へ。と、柴田登場。

柴田 次は荒れるぜ。本命は来ない。

的場 堅いと思いますけど。

柴田 ブルータスは腹こわしてんだ、毛づやよくねえの見なかったか。

的場 知りません。

柴田 くる馬、知ってんだ。教えようか。

的場 予想を売るんでしょ、いりません。

柴田 当たったらでいいんだ。はずれたらいらねえ。……来ないわけねえからよ。

的場 どれが来るんですか。

柴田 ハムレット。

的場 だって、成績がよくないでしょ。

柴田 新聞には六走前までしか書いてねえだろ。その前、勝ってんだ。七レースごとに勝つんだよ。

的場 ……ほんとはですか。

柴田 玄人は知ってるから買ってんだ。見ろ、単勝五〇倍。この成績ならふつう七〇はつくぜ。……でけえ金が欲しいんだろ。ぶっこめよ、どの馬買ったって、当たるか当たたらねえか、二つに一つだ。……あとでな。

柴田、退場。馬がまた一頭、走る音。的場、窓口へ。

的場 ……ハムレット、単勝で……一〇万。

的場、馬券を受け取り見る。間違いを犯してしまったという
気持ちが悪いかかる。
あわてて窓口へ。

的場 すいません、取り替えてください。間違えて買ったんです。だ
めですか！

発売×切りを告げるベル。馬券売場がピシヤリと閉まる。

田原 的場さん、的場さん。

明かりが戻り場内の状況音、あるいは楽しいなBGMが聞こ
えてくる。

的場あ。

田原 買えました？ いま×切りのベルが鳴ったから。

的場 だいじょぶ、買った。

田原 観戦席で見ましょう。

的場 うん。

二人、観戦席へ。

アナ これより第三レースの出走です。

ファンファーレ。

実況 さあ、各馬ゲートにはいりました。⑥枠、ハヤウチロミオがちよつと

いれこんでいるんでしょうか。だいじょぶです。はいりました。英

国二階建てバスを残そうチャリテイクス、十二頭。スタートで

す。(音楽)きれいなスタートになりました。①枠スーパージュリエッ

ト、ドンナモンタギュー、つづいてリチャードサンスケが飛び出しま

した。一馬身遅れて人気のブルータスマード、ぴったりとガンバルマクベスがマークします。さらにディアシャイロック、シーザージュリアス、ダングンパック。つづきましてハヤウチロミオ、ボンレスハムレット、イカセロオセロ、縦に長い展開になりました。先頭から最後尾アリヤリアまでおよそ十四、五馬身はあるんでしょうか。先頭はスーパージュリエットからリチャードサンスケにかわっております。カクテル光線の中、磨きあげた毛並みを光らせて十二頭のドラマが走って行く。シェイクスピアの大叙事詩に勝るとも劣りません、大地から生まれた生命のドラマであります。いよいよ勝負所、第三コーナー。ジョッキータちのムチが入る。走れ十二頭の運命たち、人間に運命の手綱は操れるのか。人間に運命の手綱は操れるのか。イカセロイカセロとオセロが前へ出る。そうはさせぬとマクベスががんばる。さあ、第四コーナーをドラマたちが回る。ここからクライマックスだ、おつと大外から抜けたのはボンレスハムレットか、いやブルータスマードであります、やっぱり来たかブルータス。半馬身差でガンバルマクベス、この二頭で決まるか、この二頭で決まるか、ロミオが走る、ジュリエットが追う、オセロが逆転をねらうがとどきそうにない。大きく

引き離して大差をつけて一着ブルータスマード、二着ガンバルマクベス。十二頭のドラマに、いま運命の幕がおりました。

田原 やった！

井崎 九五万だ！

田原 かえてきます、馬券を。

的場 うん……

田原 どうしたんです的場さん。

井崎 的場君！

的場、激しい後悔の絶叫。

的場 うわあーっ！

おびただしい量の馬券が的場の上に降りそそぐ。暗転。

暗転のまま場内アナウンス。

アナ ただいまより第四レース出走馬がパドックに入場いたします。

馬のいななき。パドックを歩く音。たのしげなBGM。
パドック見学場に柴田。パドックを眺め、肩を落とす。髪を
かきむしる。

横山登場。

横山 あんた！ 私のお金、チョロまかしたでしょ！ 返してください、四

九九〇〇円！

柴田 当たったかよ。

横山 え。

柴田 俺の予想だよ、④―⑤。

横山 外れました。いやあ惜しかったんですけどねえ、シャイロックがもう
一つ伸びればねえ。

柴田 ともかく外れた。五万でも一〇〇円でもおんなじじゃねえか。

横山 しかしですね、チョロまかすっていうのはやはり人間としてですね。

柴田 人間じゃねえよ、予想屋だ。文句いうなら予想がはずれたことに文句
言え。

横山 じゃあ、そうします。予想屋さん、あなたの予想はずれたじゃないですか。

柴田 悪かったな。

横山 いや、そう素直に謝られても。

柴田 競馬に絶対はない。今夜は俺も勉強したよ。

横山 あんた外れるたびにそう言ってんでしょ。

柴田 外れたよ、俺が買った馬券も。

横山 いくら買ったんです。

柴田 四九九〇〇円。

横山 ズルイなこの人は。

柴田 ほかのカモに売った予想もぜんぶ外れた。スツカラカンになっちまった。

横山 またカモさがせばいいでしょ。私はもうひっかかりませんけどね。

柴田 それじゃ遅いんだ。次のレースが俺の勝負なんだよ。

横山 あんたの勝負？

柴田 とっておきの馬が出る。それにありったけぶちこむつもりだったんだけどよ。

横山 しかしわかりませんよ、たったいま競馬に絶対はないって言ったじゃないですか。

柴田 これだけは絶対だ。これだけ思えるのは年に一度あるかねえかなんだ。いまもパドック見たけどよ。毛づやはいいい、張りがある。気性の悪い馬だが今夜は落ち着いている。追い切りの様子もよかった。上り調子でローテーションも理想的だ。いい枠順を引いたし相性のいい騎手が乗る。似たタイプがいねえからレースも有利に持っていける。そのくせ人氣馬が出るからオッズはベラボウだ。一〇〇万もってりゃ、一〇〇万ぶちこむぜ。

横山 いったいどの馬です。

柴田 教えない。

横山 そんな、あんた予想屋でしょ。売ってください。その予想、買います。

柴田 人間やめても五分の魂ってんだ。惚れた馬が売れるか。

横山、どの馬だろうと競馬新聞を読む。

今日子登場。パドックを見ている。

柴田、その後ろ姿を見、カモにしようと思いをかける。

柴田 あんた、馬わかるね。

今日子 そんなことないです。なんでですか。

柴田 背中だよ。わかる人間は、馬見る時、ピンとしてっからな。

今日子 今日が初めてなんです。血統とかも全然わかんないし。

柴田 関係ねえって、だいじなのはカンだからよ。馬券買ったかい。

今日子 はい。

柴田 当たったろ。

今日子 ええまあ。

柴田 ほら見ろ、才能あんだよあんた。

今日子 そうかなあ。

柴田 次はどれ来ると思う？

今日子 (指さして) あれどうかな、⑦番。

柴田 (卓にひじをつき頭を抱える)

今日子 どうしたんですか。

柴田 驚いた。いきなり核心ついてくっからよ。

今日子 またまた。

柴田 冗談じゃねえって。俺も間違いなく買ってたぜ、あのことさえ知らな
けりやよ。

今日子 あのことって？

柴田 腹こわしてんだ⑦番、今夜はふんばりがきかねえ。

今日子 そう。

柴田 そうなると展開も変わってくるからよ、思いがけねえ馬が走る。

今日子 思いがけねえ馬？

柴田 ついでに買ってきてやろうか、張り込んでも間違いねえぜ。

幸子がバッグをゴソゴソやりながら登場。

幸子 今日子ちゃんティッシュ貸してくれる？ あたしどっかにさ……（柴

田を見つけ）あんだ、なにしてんの！

柴田 なんでもねえよ。

幸子 カモにしようとしたんでしょ、そうはいかないわよ、シッ！

柴田、退場。

幸子 あんたもなにボサツと突っ立ってんのよ、あいつの正体知ってるでしょ。

横山 いえ、とっておきの馬がいるっていうんです。これがなかなか教えてくれないんですわ。で、この人と喋ってるうちにポロツと言うんじゃないかと思ひましてね。

幸子 それも手口だって。もったいつけて高く売る気なの。

横山 かな。

幸子 なにがかなよ。底なし間抜け男！

横山 苦手だ、この人。

横山、退場。

幸子 ティッシュュ！

今日子 はいっ。

幸子 あんたもフラツとしたんでしょ。

今日子 だってえ、言い方うまいから。(ティッシュュを取り出す)

幸子 (引ったくりながら) だってえ、って言うのやめなさい!

今日子 はいっ。

幸子 フンッ! (と鼻をかむ)

今日子 幸子さん。

幸子 なに。

今日子 なんかイライラしてませんか? バーに行ったあとから。

幸子 (今日子を避け窓に寄って) 今日は馬券が当たらないからね。

今日子 そうかな。気になってるんじゃないですか、ヘレンのこと。それならもう一度探しましょう。

幸子 いい。

今日子 でも。

幸子 会ったんだよバーで。

今日子 ……そう。

幸子 会ったら恨み言いってやろうかと思ってたけど、その気もなくなった。

今日子 どうして?

幸子 モナカみたいなのよ。なんだか歯の裏に、皮がひつつくみたいなの女でね。

今日子 ひつつく……

幸子 ともかくもういい。探さない。

井崎登場。今日子を見つけ、

井崎 あ、彼女！

幸子 はい。

井崎 かわいいほう。

今日子 はい、あ。

幸子 誰？

今日子 地味なおじさん。

井崎 トシ君に頼まれたんだ、君を探してこいって。

今日子 どこにいるの、あの道楽者。

井崎 医務室。

今日子 医務室？

井崎 ひつくりかえっちゃったんだ、いやトシ君じゃなくて友達。

幸子 あたしもひつくりかえったことがある。

今日子 どうしたんですか？

幸子 万馬券が当たったの。

井崎 彼は外れたんだ。大声で叫んでアゴも外れた。

幸子 いきなさいよ。医務室なんて女がいないとサマにならない。それにあなたの彼氏、仲直りしたがってんのよ。

今日子 かな。

幸子 ゴー！

今日子 じゃあ。

今日子、井崎と一緒に歩き出す。

井崎 いっとくけどさ。

今日子 なに？

井崎 トシ君とはなんにもないから。

今日子 わかっています。

井崎、今日子、退場。幸子、パドックを眺めゆっくり観戦席

へ。

落ち着かない。新聞を広げ予想に没頭しようとする。

へレン登場。的場を探している様子。

ふと、幸子とへレン、目が合う。

幸子 あ……どうも。

へレン さきほどはごちそうさまでした。

幸子 いいえ。

幸子、新聞を読むふり。

へレン お願いしてもいいかしら。

幸子 なに？

へレン お金貸していただけます？

幸子 お財布わすれちゃったの？

へレン カードしか持ってないの。

幸子 ああ……いくら？

ヘレン 一〇〇円。

幸子 馬券ね。(と、財布から一〇〇円玉を出す)

ヘレン すいません。あとでお送りします。ご住所おしえてください。

幸子 いいのよ、当たればすぐ返してもらえるし。

ヘレン そうね。

ヘレン、金を受け取り馬券売場へ。幸子、見ないふりをして聞き耳を立てる。

ヘレン サクラパポアの単勝、一〇〇円ください。……どうも。

ヘレン、楽しそうに馬券を見る。

幸子 さっき言った馬？

ヘレン そう。

幸子 どんな馬なの？

ヘレン 黒い馬。

幸子 へえ。

へレン 大きいの。

幸子 そう。

へレン いつも先頭走るわ。

幸子 (新聞を見て) ほんとだ、四コーナーまではいつもトップね。だけどそのあとバテる。

へレン お友達だった人もおんなじ。大きくて、色が黒くて、なんでも真っ先に飛び出していくの。

幸子 死んだとき、桜咲いてたしね。

へレン ……

幸子 ……モナカ、おいしかった。……人形町のどこ？

へレン うさぎやさん。

幸子 そう。うさぎやさん……あの、悪気あったわけじゃないのよ。なんだか言い出しにくくなっちゃって。

へレン ご挨拶遅れました。へレンです。その節はお世話になりました。

幸子 いえこちらこそ、寛太郎がお世話になりました。幸子です。

へレン (笑う)

幸子 なによ。

へレン ごめんなさい、思ってた人と違うの。

幸子 どんなふうに思ってた。

へレン こわい人、カミナリババアって言ってたもの。

幸子 じゃああんただって違うわよ。

へレン どう思ってた？

幸子 もっとお化粧濃いかと思った。

へレン けっこうしてる。

幸子 葬式の時、追い返しちやって悪かったわね。

へレン いいえ。

幸子 遺産相続とかにしゃしゃりでてくるのかと思ったのよ。

へレン もらったわ遺産。

幸子 あら、そう。へソクリそんなあった？

へレン 馬券。

幸子 なんだ。当たった？

へレン はずれた。

幸子 ドジね。

馬のいななき。

幸子 見にいこうかしら、馬。

へレン ご覧になって。きっとそう思うから。

幸子 よし、あたしの目で確かめてやる。

へレン、幸子退場。

田原と井崎登場。

井崎 いいのかな。彼女ひとりに任せちゃってさ。

田原 いいんです、病人の付き添いは女のほうが似合ってる。

井崎 出てくるとき彼女むくれてたよ、君とゆっくり話をしたかったんじゃ……

田原 そんなことよりの場さんの金です、(的場の財布を出し)この金をあと二レースで八〇〇万にしなきゃなりませんからね。

井崎 もってきちゃったのか、的場君の財布。

田原 さあ、何が来るかな、残り九万、一気に張り込むと思うとワクワクするなあ。

井崎 君、目的忘れて面白がっちゃいないかね。

田原 だって九万ですよ、自分の金じゃビビッて賭けられない。

井崎 そりゃそうだな。

田原 想像してみてください、窓口に九万の金をつっこむ緊張感。

井崎 ③―⑦。

田原 番号を言ったら一瞬、間をおいて。

井崎 ……九万。

田原 窓口のおばちゃんがハッと呼吸を飲んで顔を上げる。その目をじっとみつめてかすかに微笑む。

井崎 (微笑む)

田原 おばちゃんは聞き違えたのではないかと少し首をかしげる。その目を見つめたまま財布から指が切れるほどピンと張った九枚の一万円札を取り出しもう一度。

井崎 九万。

田原 札を数えるおばちゃんの手は震えている。何事が起こったのかと周囲

には人垣ができています。その射すような視線の中、渡された馬券をヒョイと受け取り確かめもせずポケットにしまい。

井崎（「草競馬」を口笛で吹きながら上手へ）

田原 春風のように去って行く。

井崎 いいねいいね。

田原 でしょう。

井崎 的場君のいないうちにぜんぶ使っちゃおう。

田原 ずっと気絶しててくれるといいんですけどね。

井崎 さて、どれにぶちこむかな……

的場、今日子登場。

的場 お二人。

田原 あ、もういいんですか。

今日子 注射が効いたのよね。

的場 ストレスなんかもたまってたみたいなんです。どうもご心配おかけしました。

田原 いやいや、心配してました。いまもねえ。

井崎 うん、的場君が寝てるから今日はもう帰ろうかなんて。

的場 財布もってですか。

田原 知ってたんだ、いや、なくさないようにと思って。

的場 また勝手に買ってないでしょうね。(札を調べる)

井崎 思いもしないよそんなこと。

田原 友情信じてよ。

的場 競馬場の友情はあだ花だと知りました。

井崎 しかし君、元気だね、あれだけの思いしてさ。

今日子 ほんとうにそう、話聞いて驚いたわ。競馬が面白いのは認めるけど、人生賭けるなんて大馬鹿。

田原 いいすぎだよ今日子ちゃん。

的場 いいんです、開き直った馬鹿は恐れることも傷つくこともありません。

井崎 あれ、なんかさつきより爽やかだね。

的場 気絶して床屋にいったような気分です。競馬場の爽やかくんと呼んで、ハハハ。

田原 かえってアブナイんじゃないかな。

的場 あと二レースです。予想を急ぎましょう。

田原、井崎、いそいそと新聞を開く。

今日子 もしかして全員馬鹿ね、男って。

田原 おとなになったね今日子ちゃん。

井崎 きつとうまくいくよ君たち。

今日子 いきません！

パドックのほうから激しい馬のいななき。暴れる音、群衆のざわめき。

井崎 なにかな。

田原 馬が暴れてるみたいですね。

二人、パドック見学場へ。

田原 うわぁーっ、すごいや、厩務員を引きずってる。
今日子 こわがってるわ、ほかの馬も。
田原 あはーっ、走った走った、レースはまだだって。
井崎 興奮剤でも使ったかな。
的場 なんて馬です？
井崎 ①番か……サクラパオーだ。

横山登場。

横山 いやーっ、おどろいたーっ。
田原 パドックにいらっしたんですか。
横山 もう突然ですよ突然、それまでおとなしく歩いてたのが急に鼻息荒げて立ち上がりましてね、確か「七人の侍」にああいうシーンがあったなあ。

柴田登場。あわてふためきながら、パドックの方に向かって、

柴田 馬鹿野郎、そんなに暴れたら出走取り消しだ！
横山 もしかしてあんたが言ってた馬……
柴田 そうだ、サクラパポーだ。
的場 あなたさっきの予想屋でしょ！
柴田 うるせえ、それどころじゃねえ。

柴田、退場。

田原 あ、あれ、ヘレンじゃないかな。
井崎 どこ、あ、そうだ。
的場 馬がヘレンに向かって走っていく……
田原 ほんとだ。
井崎 ハハ、馬も女好きだ。
今日子 あ、隣に幸子さん。
田原 だれ？
今日子 ここで知り合ったひと。
横山 私の苦手な人です。

井崎 あーっ、馬が急に回れ右したぞ。

田原 ほんとだ、走って逃げてく。

井崎 馬も中年女は嫌いなんだ。

的場 あ、めっちゃくちや走り出した。

今日子 酔っぱらってるみたい。

井崎 パニックにおちいったってかんじだな。

横山 あーっ、塀にぶつかった。

井崎 折ったぞ足！

的場 でもまだ暴れています。

田原 塀を乗り越えて外へ出ようとしてる。

横山 人が出てきました。

井崎 獣医さんかな？

田原 麻醉だ、麻醉を打つんだ。

ヒヒーンと馬がいなくなき、静まる。トラックが近づく音。

田原 すごかった！

的場 ふるえちやいました。

横山 あんなことがあるんですね。

井崎 あ、トラックで運ぶんだ……

今日子 なんだか可哀相……

ア ナ ご来場の皆様にお知らせいたします。第四レースに出走を予定しておりました①番サクラパオーは事情により出走が取り消されました。関連した勝ち馬投票券をお持ちの方は、窓口にて払い戻しいたします。なお、第四レースの出走は予定時間よりおくれることがあります。繰り返します。第四レースに出走を予定しておりました①番サクラパオーは事情により出走が取り消されました。関連した勝ち馬投票券をお持ちの方には、窓口にて払い戻しいたします。なお、第四レースの出走は予定時間よりおくれることがあります。

アナウンスの間に、幸子とヘレンが登場。

的場 ヘレン、だいじょうぶだった？ 見てたよ、馬が暴れたろ。
幸子 間違いないわ、うちの亭主よ。

今日子 幸子さん。

幸子 あんた見たらまっしぐらに走ってきたけど、あたし見つけてやばいと思っただのね、目玉ひんむいて、鼻の穴フガフガさせちゃってさ、馬のあせった顔って初めて見たわ。

ヘレン いっしょにいたからびっくりしたのよ。もう少し離れてればよかったわ。

幸子 そうね、可哀相なことした。

井崎 なに喋ってんのかな、あの二人。

横山 どうもご亭主が馬ってことらしいですね。

井崎 婚姻届は出したのかな。

的場 法律的に無理だと思えます。

井崎 じゃ、内縁か。

田原 そうじゃなくてきつと死んだご主人が。

横山 ああ。

井崎 なるほど、これがほんとのウマれ変わりだ。

今日子 なに言ってるのよ、そんなわけないでしょう。

田原 だってあの人かさ。

今日子 幸子さん。

幸子 あ、お友だち大丈夫？

今日子 幸子さんこそ大丈夫？ ヘレンと会ってどうかしちゃったんじゃないんですか？

幸子 かな。

今日子 かなじゃないです。ヘレンさん、幸子さんに何いったんですか。あなた男ばかりじゃなく女までたぶらかすのね。

ヘレン お若いのね、まだ。世の中には不思議なことがいっぱい起こるのよ。

幸子 そうなのよ今日子ちゃん、この人あたしの敵のはずないでしょ。お友達になっちゃったもの。

今日子 だってさつき歯ぐきにくつつくって。

幸子 中のアンコは結構いけるのよ。

的場 質問。

幸子 はい。

的場 私の常識からは納得いきませんが、あなたのご主人がさきほど暴れた馬だったと仮定します。

幸子 はい。

的場 どうしてその馬をヘレンも知っていたんですか？

ヘレン 前の彼氏なの。

幸子 うちの亭主が世話になってたのよこの人に。

的場 そうか、じゃ、僕のライバルだ。

田原 的場さん。

的場 東大入試、外務省入省、オクスフォード留学、そのたびに数々のライバルたちはいたが、まさか馬とライバルになるとはっ！

田原 的場さん、巻き込まれちゃいけない、あの人たちが言ってることはヘンです。

井崎 君、まだパニックだからさ、あんまり深く考えないで。

横山 しかし確かにねえ。

田原 なんですか？

横山 私にも一頭、知り合いの馬がいるんですがね。

田原 知り合いの馬？

横山 パドックで目が合うとうれしそうな顔するんですわ。小柄でシヨボクレた顔してましてね、中学で美術教わった山田大安先生ってのがいるんですが、よく似てましてねえ。

田原 よけいなこと言わないでくださいよ、彼が混乱するから。

井崎 そういえばさ。

田原 なに。

井崎 いつもビリッカスになるカゼナオールって馬がいるんだが、似てるんだこれが、うちに来てた富山の薬売りにね。

田原 やめてよ、井崎さんまで。

横山 考えてみますとね。

井崎 うん。

横山 これほど大の大人が思い入れする動物はほかにいないわけですよ。

井崎 そうだな。

横山 金を賭けてるってだけじゃなくて、ロマンていうんですかねえ。

井崎 走ってる姿を見ると涙が出てくることがあるよ。なぜお前はこんなに走る、なぜだ、なぜだつてさ。

横山 男はね、馬券を握りしめながら、馬と一緒に走ってるんです。

井崎 そうだっ！

横山 ただの動物とは思えない。

井崎 うん。

横山 これはひよっとすると。
井崎 ひよっとするねえ。
田原 もうやめましようってば。

柴田登場。

柴田 薬殺だ……サクラパオー。

幸子 薬殺って、殺しちゃったの？

今日子 そんなのひどいじゃない。

柴田 ひどかねえよ。足折った馬はもう立てねえから寝転がってるしかねえ。そうなると馬は皮膚が弱いからよ、ただれちまって苦しむだけだ。仕方ねえ、これが馬の最期だ。

幸子 悪いことしたわ、あたしが顔見せなけりや。

ヘレン 大丈夫よ、きつとまた次の馬になるわ。

的場 どんな馬だったんです？

柴田 岩手の馬だ。小さな牧場でよ、トラクター一台分の値段だったって話だ。血統もよくねえし買い手がつかなかったんだ。新馬で出てからも

しばらくたいした成績はあげなかった。力はあるんだが、走る気にならねえとまるで走らねえんだ。レースで揉まれるとすぐにやる気なくしちまう。だが勝つときは強い。鼻から先頭切って、そのまんま逃げきりだ。へたすると一〇馬身差がつくからよ。

井崎 いいねえ、そういう馬は。

横山 かきたてられますなあ。

幸子 見たかったわ、走るところ。どうせドタドタ走んでしょうねえ。

ヘレン (笑って) そう。

幸子 寛太郎もさ、競馬行って勝ったときはすぐわかんよ。玄関から廊下ドタドタ走ってくるから。

ヘレン うるさいの、あれ。

幸子 で、勝ったならなんか買ってよっていうと、必死で首ふって「負けた」って。

ヘレン 寛ちゃんウソつけないねえ、うちに来たときも夕方になるとソワソワするから「お宅でお夕飯？」て聞くと(首ふって)「仕事」って。

幸子 パパオーも首振った？

ヘレン 振った。負けてゴールにはいるじゃない。こっそりこっち見て、ブル

ブルッて。

幸子 はずかしがってんだ。(笑う)

ヘレン そう。(笑う)

的場 田原さん。

田原 はい。

的場 僕、馬に嫉妬してきちゃいました。だってあんなに愛されてるんだもん。

田原 それより馬券の検討です。早く決めないと時間が。

的場 ヘレン！ 君をそんなに夢中にさせた馬、僕だって一度会いたかったよ！

的場、退場。

田原 どこいくんですか。

的場(声) おしっこ！

幸子 いいの？ 怒っちゃったみたいよ。

ヘレン いいの、時々あなるの。

幸子 寛太郎とは違うタイプね。

ヘレン あら、似てるわ。

幸子 どころが。

ヘレン ドキドキしながら大博打うつところ。

幸子 男のそういうところが好きなんだ。

今日子、田原に近づき、

今日子 田原君、帰ろう。

田原 なんでよ。

今日子 なんか、危険な感じがするの。これから一緒に暮らしていくのよ。賭けるとか、博打とか、そういうことをあたし、持ち込みたくない。

田原 そんな大げさなことじゃなくてさ。

今日子 あなたのだらしなさは、いずれ小げさも大げさにする。

田原 なんだよ、小げさって。

幸子 ほら今日子ちゃん、昔から言うじゃない、馬鹿な男ほど……

今日子 馬鹿な男ほど馬鹿！ お二人みたいな女の度量、あたしにまだありま

せん。

田原 さて、次は何が来るかなあ。

井崎 トシくん……

田原 この④番どうかな、スマレヒロイン。牝馬だけどスタミナあるでしょう。

井崎 意地はしないでさ……

田原 俺いつか会社やめるかもしれないし、突然またバンドやるっていうかもしれないし、博打しない男なんてクズですよね！

今日子、退場。

井崎 いいのかな……

田原 いいんです。さ、予想しましょう。的場さんまた気絶しそうだから。

柴田 見送ったほうがいいぜ。パパオーが出ねえとなると、まったく読めねえ。どれがきてもおかしくねえよ。

井崎 単勝もわからんかね。

柴田 人気が散ってどれもオッズが低い。一番高いのがスプリングメモリー

の二二倍。七歳だ。差し馬だがもうはつきり衰えてる。これが引退レ
ースだから昔のファンが買ってるってだけの人気だ。

井崎 どうする、見送るかね。

田原 ここまで来たらダメモトです。なんか買いましょう。芋を食わなきゃ
屁は出ない。

井崎 そうだな。

田原、井崎、検討。と、パドックのほうから「サクラパパオ
ー」と叫び声が聞こえてくる。

横山 よっぼど好きだったんだなあ。私も友人が亡くなった時、あんなふう
に名前を叫んだことがあります。

幸子、パドックの方角に、

幸子 サクラパパオー！

馬のいななきがすぐ近くで聞こえる。つづいてゆっくり歩く音。

音はある方向から聞こえてくるようだ。皆、顔を見合わせながらそちらを見る。的場登場。馬の息づかいが近くで聞こえる。

的場 ……ついてきちゃったみたい。
井崎 サクラパパー？

馬、いなく。歩き、止まり、息づかい。

幸子 どこ、いまどこにいのよ。

横山 (ある方向を指し) なんか、このへんみたい。

幸子 寛太郎？ 寛太郎なの、あんた。

ブルブルと音。走って逃げる音。

幸子 ちよつとあんた、逃げることはないじゃないの！

へレンの傍を、駆け抜ける。

へレン すごい、風がきたわ！

歩いて再び近づいてくる。息づかい。

幸子 そこ？

へレン ここ。

幸子、へレンの近くへ。

へレン 寛太郎ちゃん？

いななき。音楽。

ヘレン びっくりしたんでしょ、いっしょにいたから。

幸子 臆病もんねえ、女こしらえるぐらいならもっとドーンとしなさいよ。

ヘレン おともだちになったの。

幸子 あんたが思ってるよりずっとたくましいんだ、あたしたち。

ヘレン こんど二人で旅行にいくわ。

幸子 温泉につかってあんたの噂話いっぱいしてやる。

ヘレン 感想は？

幸子 そんなことされちゃ困る？

馬が走りまわる音。

幸子 あらあら、喜んでるわ。

ヘレン (笑う)

幸子 男冥利だね、寛太郎！

的場 寛太郎さん、ヘレンとつきあってる的場と言います。あなたにヤキモ

チなんか焼いて自分が恥ずかしいです。度量が違いすぎます。でも、この崖っぷちの経験を通して一歩でもあなたに近づきたいと思いま

す！

馬がもう一度走りまわって止まる。ちょうど柴田の前あたり。

柴田 サクラパポー、好きだったんだ。ペロツとなめてくれ。

ペロツと音。柴田、横山、井崎、喜ぶ。音楽IN。

馬が進んで行く方向から強い真昼のような光。

幸子 走るつもりよ！

ヘレン ヒロ君のために走るって。

的場 僕のため？

柴田 サクラパポー、いけーっ！

馬が走り去る。音楽OUT。

アナ ご来場の皆様、お待たせいたしました。ただいまより第四レース出走

馬が本馬場に入場いたします。

楽しいなBGM。明かりが戻り、皆、夢から覚めたような気
持ち。

今日子登場。

今日子

（田原に寄って）あと一レースだけ許すことにした。馬鹿馬鹿しいけど、男の友情みたいなのは悪くないと思うのよ。せいぜい的場さんに協力してあげて。そういうのにヤキモチ焼くほど子供じゃない。もしも夜中に、田原君が酔っぱらった友達つれてきても、布団敷いてあげるくらいの度量は見せるわ。

的場

走るって、どういうことでしょう。

井崎

第四レースのことかな。

田原

だけどパパオーは出ないんです。いくら走っても馬券は買えない。

今日子

なんの話？

的場

へレン、ほんとに僕のために走るって？

へレン

鼻でヒロ君さしてたよ。

幸子 見えた？

ヘレン 気がした。

今日子 どうしたのよみんな。

横山 ほかの馬を勝たすんじゃないでしょうかね。

井崎 ほかの馬？

横山 自分のかわりになるような、一番、穴になるような。

柴田 スプリングメモリーか。

幸子 それだわ、名前もぴったり。

田原 どうやって勝たすんです？

横山 調教でやりますよね、二頭いっしょに競わせながら走るやつ。

柴田 合わせ馬だ。

横山 そう、パパオーがその馬の耳元で、囁きながら走るんです、走れー走れー、もっと走れーなんてね。

井崎 引退レースだ花道飾れーっ、てか。

横山 ふんばりや種馬、毎日やれるーっ。

幸子 それ寛太郎いいそう。

今日子 みんな本気で喋ってる？

田原　こんな馬鹿げた話、冗談じゃできないよ。

井崎　呆れる気持ちはよくわかるよ、こんなおとき話、大の大人が寄ってたかってさ。

柴田　まあ、馬券なんでもとからおとき話みてえなもんだぜ。血統とか走りっぷりとかジंकウスとか寄せ集めて、勝手にいろんな話をつくんのさ。本命狙いはいかにもありそうな話に乗るし、穴狙いは突拍子もねえ話に乗りたがる。

田原　で僕らはいま、突拍子もない話に乗りたい気分なんだよ。

井崎　いいね、的場君、スプリングメモリーの単勝で。

的場　それは構いませんが問題があります。九万円を二二倍しても二〇〇万にしかありません。

井崎　連勝ではどうかね、スプリングメモリーをからめてさ。

柴田　ほかの馬が読めねえ。

横山　とりあえず二〇〇万にして次で複勝を狙ったら。

井崎　そういう手もあるね……

皆の視線が的場に集まる。

的場

できればこのレースで勝負したいです。お金を使い込んでも、僕はヘレンと一緒に楽しかった。奥さんを困らせても、ヘレンは寛太郎さんと一緒に楽しかった。そういう気持ちをぜんぶ、このレースになら注ぎ込めます。もう勝つとか負けるとか関係なしに、このレースに賭けたいです。

田原、ポケットから封筒を取り出し的場に渡す。

田原 三〇万、合わせると、だいたいぴったりじゃん。

皆、口々に、三九×二二を計算する。

今日子 それ、二次会のお金？

田原 いいんだよ、二次会なんて。

今日子 もうないよ貯金。

田原 さっき言ったじゃない、布団敷いてくれるって。

今日子 お寿司までは取らないわよ。

「八五八……あ、浮くわ」などの声。

的場 今日子さん、トロいただきます。

今日子 なんて友達！

的場 スプリングメモリーの単勝、……三九万。

皆、ゴクリと生唾を飲み込む。的場、振り返り、皆の視線に
どきまぎし。

的場 買っちゃった、ハハ。

皆、ハハと笑うが不安は隠せない。なにか皆、目をそらし合
う。気まずい。

田原 井崎さん。

井崎 さん？

田原 とっておきのジョークとかありません？

井崎 うん……外国のやつでいいかな。

田原 あ、いいスね。

井崎 ある日、森の中でクマとウサギが並んでウンコしてたんだ。で、クマがウサギにこう尋ねたんだな。

「おい、ウサギ、おまえのフサフサの毛にはウンコつかないか」
ウサギは「つかないよ」と答えた。

するとクマはウサギをつかんで、自分のオシリをふいたんだ。

皆、うつろに笑う。的場、頭を抱えてしゃがみこむ。

アナ これより第四レースの出走です。

ファンファーレ。皆、動こうとしない。

実況 まず悲しい出来事をお伝えしなければなりません。出走予定馬、サク

ラパパオーの事故であります。華やかな成績こそありませんが、逃げ

切ったときは絶品の脚を見せました。数多くの隠れたファンがありました。天国でも駆ける、サクラパオー。その姿は、いつまでも我らの心の競馬場を走りつづけるのであります。人気馬が揃いました第四レース、スターライトチャンピオンシップは亡き馬を追悼するレースになりました。また②枠、スプリングメモリーにとってはこれが最後のレースであります。事故の影響なんでしょうか、多少入れ込んでいた馬も数頭ありましたが、すっかり落ち着きを取り戻しました。さあスタートです。きれいなスタートをきりました。大きく飛び出す馬はありません。黒い帽子、ヨツバクローバーがやや前へ出たか。カゼノタンポポ、アオイシヨウブ、スマレヒロインとつづきます。さらにアサガオチャンプ、ヒマワリガール、そして、スプリングメモリーはここにいます。グレートツバキ、アジサイティーン、このあたりほとんど一団。一馬身遅れてサンダーローズ、マツノボックリ。ゆっくりとしたペースです。お互いの出方をうかがいながらスローな展開になりました。さてレースをつくるのはどの馬か。スマレヒロインが出たか。押し出されるようにスマレヒロインが抜け出しました。それを待ってアサガオチャンプが後を追う。グレートツバキにはムチがはいっ

た。ヨツバクローバーも動きます。ペースが上がりました。やっぱり流れをつくったのはスマレヒロイン、じゃじゃ馬娘の面目躍如であります。おっと一頭動いた。何か外から一頭動いた。スプリングメモリーだ。なんとスプリングメモリーが動いた。速い、速い、いきなり猛スパートであります。仕掛けたというより折り合いがついていない感じ。騎手が立ち上がるようになっていく。だが言うことを聞かないスプリングメモリー、ガムシヤラにいきます。ガムシヤラに行く。これが最後と分かるのか。これが最後とわかっているのかスプリングメモリー。先頭に立ち、スマレヒロインに四馬身差。しかしこれは速すぎる。差し馬にとっては速すぎる展開です。あと千二百メートル、スタミナがもつのかどうか、スプリングメモリー。あとの馬は慎重です。バテるのを待っているのか。後続は相変わらずスマレヒロインが中心。集団ははっきりスプリングメモリーとその他の馬に分かれました。第三コーナーを回って先頭はヨツバクローバー、つづいてアサガオチャンプ、しかしスマレヒロインは余裕があります。いい位置だ。十馬身前に行くのがスプリングメモリー。がんばっている。スプリングメモリーがんばっている。バテません。五着入選で花道を飾れるか。さあ

馬群は、第四コーナー。大外からサンダーローズが出てきた。内からスルスルッと伸びてきたのは風に乗ったか、カゼノタンポポ。さらにグレートツバキきた。スマレヒロインが割って出る。アオイシヨウブも勝負を賭ける。予想通りラスト二百メートルの競馬。しかしバテません。バテないぞスプリングメモリー。バテない、スプリングメモリー。このままでいくのか、このままでいってしまうのか、いったかいったか春が行く。スマレもツバキももうとどきません。十馬身差がある、十馬身差があるぞ。堂々の花道、堂々の花道、スプリングメモリー、いまゴールイン。スプリングハズカム、スプリングハズカム、サラクラが散って春が来た。最後の春は、忘れられない春になりました。

音楽。皆、途方に暮れたように静かである。的場、立ち上がり、

的場 ありがとうございます。借りたお金は必ずあとでお送りします。

幸子 なんだかよかった。こんどは一緒にお葬式できたいで。

ヘレン うん、よかった。

的場 皆さん、お騒がせしました。さようなら。

皆 さようなら。

ヘレン バイ。

田原・井崎 バイ。

的場、ヘレン、退場。

井崎 なんだか、妙だね。大声で叫んじやうかと思っただらさ。

田原 こういうもんなんでしょう、ほんとの勝負は。

柴田 畜生、買つときゃよかったぜ。

柴田、退場。

井崎 トシ君、君と会えてよかったよ。いろいろ楽しかった。

田原 僕も楽しかったです。(握手)

井崎 また競馬場で会おう。週末はいつも来てるから。

田原 ぜひ。

井崎 彼女となかよくな。

田原 はい。

井崎 (皆に) さようなら。

皆 さようなら。

井崎、退場。

横山 レースの間じゅう、ずっと考えてたんですがね。

田原 何をですか。

横山 私の場合、どんな馬になるんでしょうかねえ……さようなら。

皆 さようなら。

横山、退場。幸子、歩き出す。

今日子 いらっしゃるんですか。

幸子 うん、明日も仕事あるしね。

今日子 お疲れですもんね。

幸子 まあ、いろいろあるわよ。あんたもいろいろ、がんばんなさい。
今日子 はい。

幸子、手を出し握手。

幸子 さよなら。

田原 さよなら。

今日子 さよなら。

幸子、退場。

田原 ……怒ってる？

今日子 ……呆れてる。

田原 もうやになった？

今日子 ……でも大穴かもしないし。

今日子、退場。田原、今日子を追って退場。音楽OUT。

ア
ナ
ただいまより、本日の最終レース、第五レース出走馬が本馬場に入場
いたします。

井崎登場。ほぼ同時に登場した柴田とはちあわせ、気まずい
挨拶をしてパドックの方向に。横山登場。井崎と顔が合い気
まずく挨拶。

幸子登場。井崎と目が合いそらし合う。的場登場。

井崎 あ、また買うんだ。

的場 ほんの遊びです。こんどは楽しもうと思って。

井崎 小遣いでやめときゃ、こんな楽しいもんじゃないよ。
的場 はい。

的場、馬券売場へ。

的場 ④―⑦（ポケットから札束を出し）一〇〇万円。

アナ これより第五レースの出走です。

音楽。皆、観戦席へ。田原、今日子も登場し観戦席へ。
ヘレン登場。

ヘレン ヒロ君、馬券買った？

的場 買った。

ヘレン こんどはモロッコいこう。

的場 いこう。

実況 さあ、本日の最終、第五レース、スタートです。

観戦席の皆が叫ぶ。

皆 いけーっ！

馬群が走る音。音楽UP。暗転。

幕